

市議会だより

おおだ

No.55

2019 (平成31) 年4月18日発行

仁摩サンクトミュージアムにて「KO・TE・E展」

2019年6月30日まで開催中

3月定例会 3月4日～22日

- 平成31年度一般会計予算可決……………2
- 介護保険料、鳥獣被害対策等10人が市政を問う…8
- 5/25(土)議会報告会を開催します……………16

編集・発行
大田市議会

〒694-0064 鳥取県大田市大田町大田 口1111 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-9927
<http://www.city.ohda.lg.jp/> E-mail: o-gikajimu@city.ohda.lg.jp

3月定例議会は一般会計、特別会計の平成31年度当初予算のほか、平成30年度補正予算、条例の制定、一部改正、一般案件を慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。

まち“おおだ”を目指して!



第71回 全国植樹祭 しまね 2020
木でつなごう 人と森との 緑(えにし)の輪



第二中学校屋体の大規模改修工事
1億6,870万円



新可燃ごみ処理施設整備に
係る負担金
3億2,708万円

245億6,000万円 (対前年度当初比8.2%増)



街路整備事業(菜洗橋の架け替え工事)
2億9,420万円



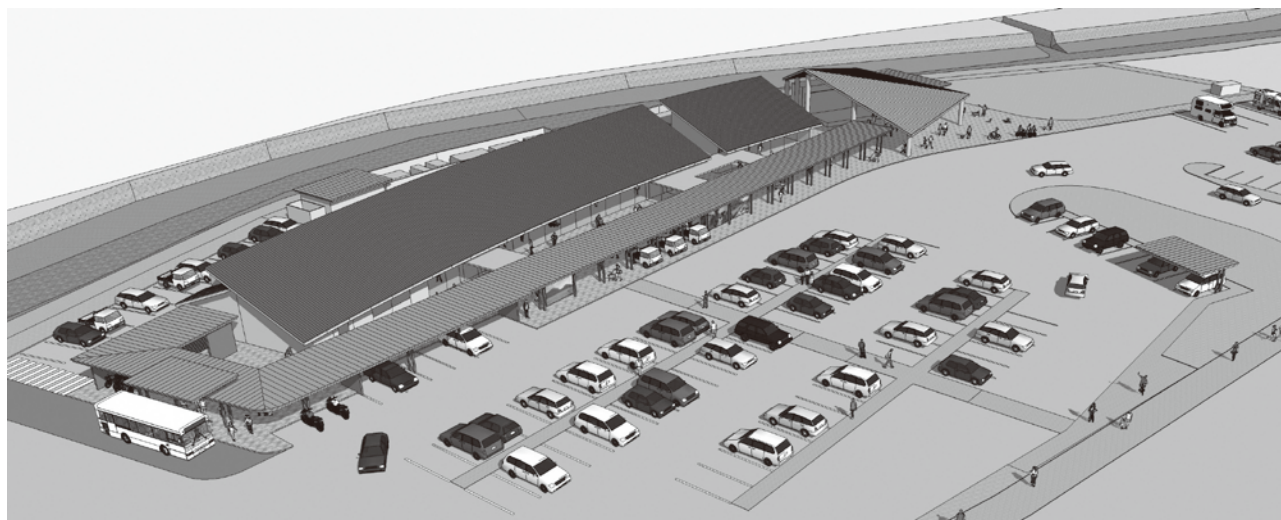
都市公園整備事業
(大田総合体育館等の都市公園施設について、
計画的に更新、改築、修繕を実施)
2億3,140万円

3月 定例市議会

平成31年3月4日(月)～3月22日(金)

平成31年度当初予算案など原案どおり可決

子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱ける



仁摩地区道の駅整備事業 2億1,717万円

平成31年度一般会計予算



西部消防署庁舎新築整備事業
1億7,100万円



大田消防署三瓶出張所庁舎整備事業
1億7,320万円

3月定例会市議会で審議された 平成31年度一般会計予算 ～大田市総合計画 施策体系別にピックアップ～

多様で活力ある産業づくり

大田市輝く若者 ビジネスプラン コンテスト	305万円	大田市の将来を支える若者を対象に起業・創業を希望する者の事業計画を募集し、地域課題等を解消することにつながる新規事業に対し補助を行う
持続的生産強化 対策事業	1億6,276万円	産地の持続的な生産力強化を図るため、大田市重点園芸振興作物である5品目(アスパラ・白ネギ・ぶどう・メロン・キャベツ)について、新たにリースハウスを設置する費用等を助成する



ふるさとを愛する豊かな心づくり

コーディネーター 配置事業 (教育魅力化 推進事業)	1,159万円	市内小中高や山村留学センターの特色ある教育活動を支援し、教育魅力化を図るため、教育魅力化コーディネーターを配置する(高校2名、教育委員会1名、山村留学センター1名)
-------------------------------------	---------	--



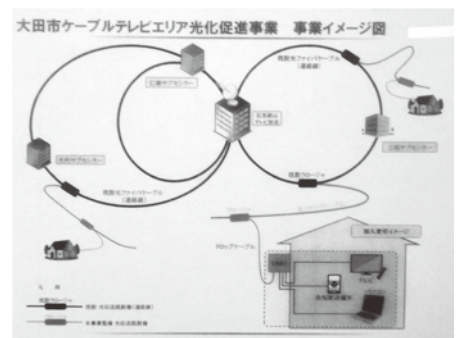
だれもが住みよい暮らしづくり

母子健康包括支 援事業	515万円	母子保健法に基づき、母子健康包括支援センターを設置し、妊産婦や乳幼児等に対して切れ目のない相談及び支援を行う
多文化共生事業	700万円	多文化共生社会の実現に向け、国際交流員の配置や多文化共生推進計画(仮称)の策定を行う



くらしや交流を支える都市基盤づくり

第2期ケーブル テレビエリア光 化促進事業	2億1,000万円	第2期ケーブルテレビエリアに敷設された伝送路のうち、同軸ケーブルを光ケーブルへ更新する
-----------------------------	-----------	---



人と自然が共生した自然・生活環境づくり

し尿処理施設改 修事業	540万円	老朽化したし尿処理施設の長寿命化を図るため、基幹的設備改修に係る長寿命化総合計画を策定する
----------------	-------	---



協働・共創による持続可能なまちづくり

まちづくりセンター 耐震改修事業	5,500万円	富山まちづくりセンターを旧富山小学校に移転するため、改修工事、既存施設の解体工事等を行う
---------------------	---------	--

平成31年度一般会計予算討論 ～要旨

賛成



塩谷 裕志 議員

昨年4月に発生した大田市東部の震災対応としての継続的な取り組み、予定されている事業の執行に併せ、市長の掲げている「共創によるまちづくり」が、十分に反映されたものである。将来を見据えた新たな取り組みなど、将来を担う若い世代への大きなメッセージが伺えるものと評価する。第2次大田市総合計画の体系ごとに賛成の立場から意見を申し上げる。

①多様で活力ある産業づくり

2021年度の開業を目指した仁摩地区道の駅整備事業は、山陰道の全線開通を視野に、一次産品はもとより観光や食、伝統芸能などの大田市の魅力発信拠点として期待する。

②ふるさとを愛する豊かな心づくり

教育魅力化統括プロデューサー配置事業、各高校に配置する教育魅力化コーディネーター配置事業、小中

高教育並びに山村留学魅力化コーディネーター配置事業は、教育魅力化への取り組みが期待できる。

③だれもが住みよい暮らしづくり

母子健康包括支援センターを市役所内に設置する母子健康包括支援事業は、妊産婦や乳幼児へ切れ目のない相談・支援を望む。

④暮らしや交流を支える都市基盤づくり

人口減少や少子高齢化が進む中、国の制度を最大限活用するための立地適正化計画の策定に併せ、大田市駅東側まちづくり事業が本格的に進むことを期待する。

⑤人と自然が共生した自然・環境づくり

2022年度供用開始に向けた新可燃ごみ共同処理施設建設事業、五十猛の可燃物中継施設の改修並びに長寿命化を図るためのし尿処理施設などの改修計画の策定などがあり、環境づくりについて評価する。

⑥協働・共創による持続可能なまちづくり

市内各地域の課題である生活機能の確保・生活交通の確保・地域産業の振興・定住対策の促進などの取り組みを支援する持続可能なまちづくり推進事業の継続をお願いする。

反対

住民の苦しみに寄り添うことが強く求められている。「市民の命」と「暮らし」を守るための予算として要求に応えたものもあるが、十分とは言えない。次の6点について反対する。

①消費税の増税分を基に行われるプレミアム付商品券の発行と、幼児教育・保育の無償化

商品券の使用期間は限られている。使い切ってしまうえば恩恵はない。幼児教育と保育の無償化は、来年度は国の補助があるが、それ以降は不透明である。また、給食費は実費負担である。給食は保育の一環であるという観点に立って、給食費も無償にすべきである。

②波根保育園の指定管理

公立保育園を指定管理者制度で運営することは、行政の責任を後退させるものである。

③マイナンバー制度

政府は消費税増税の対策として、マイナンバーカードを活用した「自治体ポイント制度」を実施している場合に、プレミアムポイントを付与する仕組みを導入するとしている。これは増税対策に便乗して、遅れているカードの普及を図ろうとするものである。自治体ポ

イント制度を実施しているのは全国でも少なく、島根県ではゼロである。

④就学援助

生活困窮世帯に対する支援の拡充をはかるとして認定基準と支給額の見直しを行うということだが、就学援助を受けることができる対象が狭まる。学用品などは、子どもたちが学ぶ上で必要不可欠である。

⑤産業振興

誘致企業頼み、大企業呼び込み型の産業振興策から脱却し、地域に根を張って頑張る中小企業、地場産業育成に重点を置くべきである。内発型、循環型の地域経済を目指した地域振興策を推進するべきである。

⑥農業

持続可能な農業経営を実現するため、価格保障と所得保障を行い、生産コストをカバーする支援策を講じるべきである。輸入自由化路線はきっぱり反対しなければいけない。



亀谷 優子 議員

◇ 1月臨時会提出議案等賛否一覽表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	林茂樹	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林賢治	河村賢治	大西修	月森和弘	木村幸司	塩谷裕志	清水勝	石橋秀利
■市長提出議案																							
議案第73号 平成30年度大田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※定数20名(現員19名)、うち議長(石橋秀利)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

◇ 3月定例会提出議案等賛否一覽表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	林茂樹	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林賢治	河村賢治	大西修	月森和弘	木村幸司	塩谷裕志	清水勝	石橋秀利
■市長提出議案																							
議案第74号 平成31年度大田市一般会計予算	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第75号 平成31年度大田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第76号 平成31年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号 平成31年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第78号 平成31年度大田市介護保険事業特別会計予算	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第79号 平成31年度大田市生活排水処理事業特別会計予算	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号 平成31年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号 平成31年度大田市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号 平成31年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号 平成31年度大田市下水道事業特別会計予算	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号 平成31年度大田市水道事業会計予算	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第85号 平成31年度大田市病院事業会計予算	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号 平成30年度大田市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第87号 平成30年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号 平成30年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第89号 平成30年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号 平成30年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号 平成30年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第92号 平成30年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号 平成30年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号 平成30年度大田市病院事業会計補正予算(第4号)	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案名	議員名等	議決結果	賛	反	林	亀	根	和	三	森	胡	森	小	石	松	小	河	大	月	塩	清	石
			成	対	茂	谷	宜	田	谷	山	摩	山	川	田	村	西	森	谷	森	裕	水	橋
■市長提出議案																						
議案第95号 大田市まちづくりセンターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する等の条例制定について	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号 大田市駐車場の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	14:3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号 大田市職員の自己啓発等休業に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号 大田市個人情報保護条例及び大田市情報公開条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号 大田市情報公開条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号 大田市都市計画法条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号 大田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号 大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号 大田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号 大田市一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号 大田市水道水源の水質の保全に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号 大田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号 大田市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号 大田市アンテナショップの設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号 大田市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号 三瓶観光リフトの指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号 国民宿舎さんべ荘の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号 西の原レストハウスの指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号 北の原キャンプ場の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号 大田市葬斎場の指定管理者の指定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第116号 市道路線の認定及び変更について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第121号 大田市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■請願・陳情																						
陳情第1号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」提出方について	不採択	3:14	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	○

*定数20名（現員18名）、うち議長（石橋秀利）は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）

いっぱん質問



市政に対する一般質問は、3月7日、8日に行われ、10人の議員が執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

▲波根町で開催された「大アナゴ祭」の様子

介護保険料と生活援助サービスについて問う

介護保険料未納については個別相談に乗っている

質問

介護保険制度の開始以降、3年ごとの見直しによって介護保険料は上がり続けている。経済的な理由で保険料を払えない人に対してどのような対応をしているか。

また、昨年10月から、1ヶ月の生活援助サービス回数が基準を超えた場合にケアプランの届け出が義務づけられたが、これは「利用者の自立支援に役立つ」と言えるか、所見を伺う。

答弁

介護保険料の滞納については、納付勧奨、電話連絡や窓口での面接等を行っている。納付意思や過去の納付状況により分納の相談を行うなど、無理なく保険料を

かめたに 亀谷 優子 議員

納めていただけるよう努めている。

生活援助サービスについては、利用の必要性が低いにもかかわらず利用回数が極端に多い場合に規制をかけるものである。そのようなケースにおいて、利用者の自立支援に一定の効果を発揮すると考えている。なお、届け出があれば地域ケア会議において内容を精査し、必要と認められれば回数にこだわらず、個々の事情に応じたサービスを提供するものがある。利用回数や介護給付費を抑制するものではない。



消費税増税に対する 支援策を問う

事業者への周知や 相談に努める

おおにし おさむ
大西 修 議員



率対応レジの導入に対する支援や、日々の経理を効率化する会計ソフトや顧客管理情報等を一元管理するシステム導入の支援も行っている。中小・小規模事業者も含めた消費税率の引き上げに伴う影響を最小限にとどめるとともに、生産性の向上を図るための対策を講じている。

市内商工団体からの聞き取りでは、現時点で国からの複数税率の導入に関する詳細が示されていない。また、複数税率やキャッシュレス決済でのポイント還元等について知らない事業者も多い。

引き続き情報収集に努め、市内商工団体等と連携しながら、税率の改定に伴う対応や支援制度等について、事業者への周知や相談に努める。



フリーイラスト素材集ジャパクリップ

質問 消費税増税は、混乱を拡大する複数税率やポイント還元に対する声が世論調査でも多数ある。

政府の統計不正是消費税増税の前提を崩している。混乱を広げる消費税増税は中止すべきである。市内では倒産・廃業の音が広がっている。この声に対する支援策を伺う。

答弁 今年10月、消費税率が10%に改定される予定となっている。国は当初予算で、キャッシュレス決済でのポイント還元や低所得者、子育て世帯を対象としたプレミアムつき商品券の販売を行う市町村に対する補助を行う。これに伴い、複数税

外部人材を活用した 養成事業への取り組みを

養成講座の充実や 参加拡大に取り組んでいく

わだ こうじ
和田 浩司 議員



を高めていきたい。

質問 行財政改革を進める上で、地方自治体内においては、将来を担う人材育成が重要である。そこで今回、「健康まちづくり」を推進する大田市として、市内の人材育成はもとより、各事業において即戦力となる外部人材を活用した養成事業への取り組みについての意向を伺う。

答弁 大田市内のヘルスツーリズムを推進するため、一般社団法人おおだ健康ビューローへの運営費補助を行っている。プログラム参加者の満足度を高め、リピーターの増加による収益向上につながるよう、現在不足しているガイド候補の養成講座をさらに充実させ、ガイドの質

定住促進と交流人口の拡大を推進する山村留学事業は、平成16年度から始まり、昨年度末までに長期留学生が延べ169名、短期留学その他を含め5717名が参加した。これらの活動全般を担うスタッフは、これまで県内外の大学生を中心に協力依頼を行ってきたが、5年ほど前からボランティアの確保が難しくなってきた。今後は県教育委員会や国立三瓶青少年交流の家が実施している募集事業との連携や、市内高校生に呼びかけ、関心と意欲のある学生や社会人などの参加拡大に取り組む。



鳥獣被害対策の現状と今後の対策は

地域ぐるみで鳥獣被害防除と捕獲に取り組む

こまだひろたか
胡摩田弘孝 議員



ルは市内各地で目撃情報が寄せられ、20以上の群れを確認している。被害等も増加していることから、生息数、群れの数とも拡大傾向にある。

捕獲事業としてイノシシ、日本ザルについては1頭当たり8500円を支給している。今後は単価の見直しの検討、防除と捕獲対策のバランスを適切に行うことが重要だと考える。効果的な鳥獣被害対策は、地域ぐるみで被害防止対策に取り組むことだと考える。

質問 平成29年度に「大田市鳥獣被害防止計画」を策定され、イノシシ被害は減少傾向にある。逆に、サル被害は増加傾向にあり、農作物のほかにも人的被害も懸念される。

有害鳥獣被害拡大の要因は、農業人口の減少、農地の山林化、森林崩壊などがある。里山をみんなで守り維持することが持続可能なまちづくりに繋がる。現状の農産物被害の状況や補助事業の実態、今後の対策について伺う。

答弁 当市の有害鳥獣被害は、被害防護柵等設置補助事業や捕獲事業などを計画的に実施し、総被害額は減少傾向にある。しかし、サ

今後とも積極的に地域に出かけ、農業者と大田市鳥獣被害対策実施隊が共同で取り組む有害鳥獣捕獲制度を推進し、適切な防除と農作物に被害を及ぼす鳥獣を対象とした捕獲を中心に行うことで農作物被害の減少に努めていく。



イノシシ柵の設置作業

大アナゴのブランド化を進めては

関係機関と連携し、ブランド化に取り組んでいく

みたに たけし
三谷 健 議員



価をいただいている。市としても一定の成果を得ているものと評価している。

大アナゴのブランド化については、都道府県別の水揚げ量は島根県が一位となり、その約半分が大田市で水揚げされている。一方で水揚げされたアナゴは首都圏をはじめとした大都市に出荷され、大田市民が口にする機会が少ない。

質問 現在、継続して実施されている大田市産品販路拡大重点支援事業の成果とそれらをどう評価しているか。

また、全国一位の漁獲量を誇る島根県の中で、県内一位の漁獲量となった、高い鮮度品質で商品力のある、大田産大アナゴのブランド化を進める考えがあるか伺う。

答弁 大田市産品販路拡大重点支援事業は、専任の首都圏販路拡大コーディネーターの配置等により、おおだブランド認証商品をはじめとした市内商品の販路拡大に取り組んでいる。主に水産物や農産物を中心に、首都圏のカタログ販売や全国のごだわりのある小売店等から評

このような状況の中、昨年、大田市のアナゴがテレビ番組に取り上げられ、市内外で大きな反響を呼び注目を浴びている。市としてもおおだ一日漁推進協同組合などの関係機関と連携し、ブランド化に向け取り組んでいく。



▲JFしまね大田支所でのセリの様子

「火山活動由来の地域資源」の日本遺産認定見通しは

文化庁の認定条件はクリアしている

しみず 清水 まさる 勝 議員



火山活動に由来する三瓶小豆原埋没林や福石鉢床、琴ヶ浜等、合計22の遺産を一つに結びつけたストーリーとなつている。文化庁の示す興味深さ、斬新さ、遡及力、希少性、地域性の5つの審査基準を十分満たしており、認定条件はクリアしていると考えている。認定によつて、大田市の認知度の向上及び地域のブランド化、さらには地方創生にもつなげる効果があると期待している。地域内での情報発信と共に、地元選出の国会議員や関係省庁への要望活動を行っている。

ただ認定結果にかかわらず、この活動を地域の活性化に向けた行動に移していただく契機として、この取り組みの輪を広げていきたいと考えている。



質問 文化庁が観光・地域振興に向けて創設した「日本遺産」登録をめざし、三瓶小豆原埋没林・波根西硅化木・福光石の石切り場など18箇所を火山活動由来の資源として登録申請されている。文化庁は来年度までに全国で100件の認定をするようだ。

答弁 日本遺産については、沿線7市町共同によるものも含めて3件の申請をしている。大田市単独申請の「火山からの贈り物」は、古代に起きた三瓶山や、大江高山の

公民館、まちづくりセンターの今後の体制を問う

新年度に検討会を立ち上げ、効率的な事業実施を目指す

かわむら 河村 けんじ 賢治 議員



育んでいる。一方、市内27ヶ所のまちづくりセンターは、公民館と連携しながら各地域のまちづくり活動の充実や身近な行政サービスの提供に取り組んでいる。その結果、住民主体の自主防災や福祉・介護予防活動などが進められてきた。

質問 施政方針の中で、公民館としてから10年が経過したことを機に、改めて検討することある。10年前、公民館をブロックに1箇所設置し、旧公民館はまちづくりセンターに変更した。当時、二重とも思える設置であった。

答弁 現在ブロックごとにある7ヶ所の公民館は、それぞれ地域が持つ自然や歴史・文化などの教育資源を生かし、学びの場の充実や人材育成を図ってきた。住民との交流を通じ、地域への誇りや愛着を

市長の考えは、まちづくりセンターも含めて検討するのかがどうか、全体の内容を伺う。



多額の光ケーブルの整備について、 詳細な説明を

国の補助事業を活用し、
31年度から2カ年で実施する

ね ぎ かずゆき
根 宜 和 之 議員



し整備を決断した。

事業の進め方として、国の補助期間が平成31年度から2カ年で、仁摩サブセンターエリアを31年度に、32年度は三瓶と大代サブセンターエリアを考えている。また、銀山テレビが整備した第1期エリアの光ケーブル化についても、平成31年度に工事を予定している。なお、銀山テレビの契約者の方々の負担については、この度の光

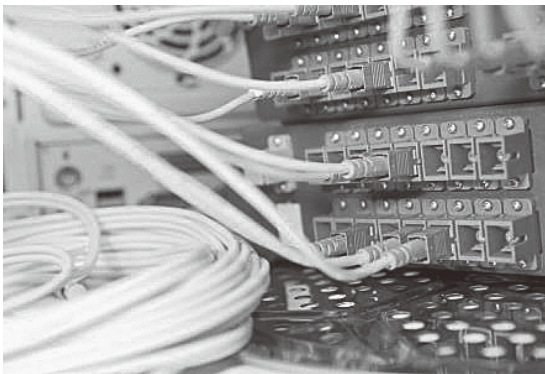
質問

市長は施政方針において、新年度から光ケーブルの整備を進め、市内の通信環境の充実を進めていくと明言された。情報格差の解消につながるインフラ整備として賛成はするが、多額の事業費がかかるため、丁寧な説明が必要ではないか。事業概要、特に支援制度や期間とエリア、石見銀山テレビとの事業の進め方を伺う。

答弁

光ファイバーケーブルの整備費は、概算事業費でおよそ11億円である。国からの支援を要望している中、1月に、光ケーブル化について、緊急対策事業が創設された。この事業が当市の事情に即したものとなっていることから、最適と判断

の光ケーブル化による料金改定はないと聞いています。



▶光ファイバーケーブルを
集積する装置

小学校における 英語教育の取り組みは

島根県教育委員会と連携し、
取り組んでいく

いしだ ようじ
石 田 洋 治 議員



②平成2年度に1名を任用して、逐次増員を行い、今年度は5名任用している。

③平成27年度より島根県教育委員会が開催している専門研修を市内の教職員も多数受講し、その受講した教員がそれぞれ学校内で他の教員への研修を行うなど、英語教育の全面実施に向けての準備を進めている。また、昨年8月に全小学校から16名の教員の参加を得て、ALTを活用した授業力向上に関する実践的な研修をしている。さらに、本年4月には島根県教育委員会から指導主事を招いて、国の最新の動向を踏まえた研修会を実施する予定である。

質問

小学校では、英語教育を含む新学習指導要領の全面実施が2020年度に控えている。このようなか、ALT(外国語指導助手)の発音を子どもたちに聞かせることは大変有効であり、国際人を生み出す意味においても貴重な教育になると考える。大田市の小学校英語教育について①現状と取り組み②ALTの任用③教員の英語研修について伺う。

答弁

①今年度は小学校3、4年生で年間15時間、5、6年生で年間50時間を基準として外国語に関する授業を行った。平成31年度からは3、4年生、5、6年生ともそれぞれ20時間増やして全面実施に備える。



▲小学校での英語学習の様子

山陰自動車道の 全線開通による 対策と効果は

大田市の魅力の発信や 企業誘致に取り組む

こばやし ふうし
小林 太議員



質問 山陰自動車道の全線開通が見えてきた今日、その効果の認識と対策は重要だ。通過されない地域となるために目的地となる事、その誘導策、情報発信などは今から準備しておく必要がある。一方、効果としては企業進出がある。新たな工業用地の検討も進めなくてはならない。対策と効果について考えを伺う。

答弁 目的地として選んでもらうためには、日々の生活の中に歴史や文化がある姿こそ魅力であると感じている。世界遺産「石見銀山」、国立公園「三瓶山」などの観光資源のさらなる磨き上げ、食や体験型観光商品の開発、受け入れの環境整備を進

めていきたい。誘導策として、ウェブやSNSなどの発信媒体を活用した情報発信や、道の駅などを利用しての誘客を行い、島根県や関係機関との連携も強化していきたい。
新たな工業用地は、大規模な工業団地を整備する手法が望ましいのか、個々の企業のニーズに応じて整備するオーダーメイド型用地の確保が望ましいのかなどを念頭に置きながら、新年度に候補地となり得る場所の選定調査を実施したい。



▲山陰道「朝山・大田道路」

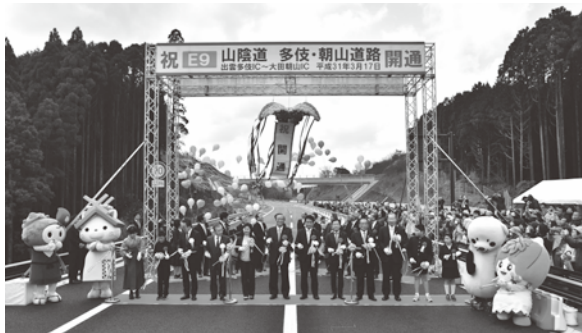
山陰道多伎・朝山道路開通

3月17日

山陰自動車道多伎・朝山道路(延長9.0キロメートル)が開通し、議長をはじめ、多くの議員が参加し、開通を祝いました。

国道9号線の急カーブや急勾配により重大事故が多発している「仙山峠」を完全に回避でき、安全で快適な走行ができるようになりました。島根県東部から西部への移動時間が短縮することで、防災危機管理の充実、救急医療の向上及び生活圏域の連携を促進することが期待されます。

山陰自動車道全線の早期完成を願うと共に、大田市のさらなる発展を期しました。



議員研修会

2月13日

大田市議会議員研修会を開催しました。島根大学法文学部准教授の毎熊浩一まいくまこういち氏を講師に迎え、「地方議会への期待～学生との活動経験から」と題し、講演を受けました。

松江市内の中学生と市議会議員とのワークショップの開催を通して、政治に関心を示す生徒の割合が増えた事例など、学生を中心に企画・活動されている取り組みについて講演をいただきました。

大田市議会でも、議会の魅力化、活性化を図り、時代に即した議会の実現のため協議を進めており、今回の研修は大変有意義なものとなりました。



**行財政改革特別委員長
中間報告**



もりやま あきひろ
森山 明弘 委員長

12月定例会で委員長報告を行った後、2月8日に「大田市使用料及び手数料の見直し」と「公共施設適正化計画の着実な遂行に向けた取り組み」について開催。

大田市使用料及び手数料の見直し

見直しの趣旨、対象の使用料及び手数料、算定方式、激変緩和措置、減免基準の統一、料金の改定時期等、見直し内容の詳細な説明を受けた。前回からの変更点は、小・中学生で組織された団体からの学校体育館使用における料金は免除するでした。

主な質疑と回答

問 見直しによる歳入の増額はいくらか。

答 使用料は、激変緩和措置により2020年度までは増加せず、2021年度は約100万円、2022年度は約200万円強の増加見込み。手数料は、年620万円強の見込み。2

019年度は10月からの改定のため、下回る見込みである。

問 市民への周知方法とスケジューリングは、どのように進めていくのか。

答 3月議会に議案上程、4月～9月にかけて、関係する全施設に周知するとともに、広報おおだ・市のホームページ・ぎんざんテレビ等を通じて周知していく。

公共施設適正化計画の着実な遂行に向けた取り組み

市が保有する公共施設の延べ床面積を2045年度までに、30%以上削減することを目標に掲げるもの。今後の具体的な展開内容について、改めて説明を受けた。

主な質疑と回答

問 廃止予定の市営住宅に入居されている方々は転居が必要となるが、タイムスケジュール等は決まっているか。

答 入居者の転居が完了した後、廃止を予定している。期限は目標と考えている。

問 廃止を公表された公共施設について、解体に着手せざるを得ない施設はあるか。

答 直ちに解体が必要となる公共施設はないと考えている。旧勤労青少年ホームは近隣にもいろいろある物が飛散等しており、現在解体の設計を実施している。

**大田市総合計画審査検討
特別委員長報告**

大田市の今後8年間の大事な計画であり、羅針盤となる



おかわ かずや
小川 和也 委員長

12月定例会で委員長報告を行った後、2回の委員会(第5回・第6回)を開催。審査における主な質疑、意見は次のとおり。

第5回(12月21日)主な質疑

問 8年間の見通しが示してあるが、マイナ要素ばかり目に付く。地域資源などの、他市にない大田市特有の特徴を述べるべきではないか。

答 基本構想で述べる構成にしている。

問 全国植樹祭終了後の活用はどのように考えているか。

答 国立公園満喫プロジェクトや全国植樹祭を活用してPRしながら、ヘルスツーリズムやグランピングなどの自然を活用した観光を推進していく。

第6回(2月15日)

パブリックコメント、推進会議で出た意見を踏まえた大まかな説明があった。

主な質疑

問 外国人労働者、研修生の記述はどこにあるか。

答 多文化共生という形で記載している。外国人に大田で有意義に生活してもらえよう、国際交流員の派遣を要請している。

問 波根工業団地が埋まるが、新たな企業誘致に関する記述はあるか。

答 高速道路の全線開通を見据え、新たな工業用地の整備に向け検討を進めるという形で記載している。

問 総合計画を市民に分かりやすいような工夫が必要ではないか。

答 漫画等も活用して、高齢者の方・子どもたちにも分かりやすい広報を作成していく。

問 全国植樹祭が開催される予定の中で、林業の専門家の人材育成を取り組んでいく必要があるという記載が必要ではないか。

答 担い手の確保において、人材育成という面で記載している。

今後、この計画に基づき基本構想に掲げる「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまちおおだ」の実現と「共創」のまちづくりを目指し、さらに大田市の発展を願い、審査を終えた。

**議会改革・魅力化調査検討
特別委員長 中間報告**

具体的な項目や今後の
方向性について議論を進める



小林 太 委員長
こばやし たかし

1月29日、第3回委員会を開催。
大田市議会基本条例を基に議会改
革、魅力化に向けた意見、提案を求め
た。

主な意見、提案

(議会の責務と役割)

各委員会や一般質問などの機会に
様々な政策提案を行政側へ伝えてい
る。

(議員の責務と役割)

合議制の意思決定機関の一員とし
て十分議論しているとは言えない。
個人の資質向上に努める必要がある。
(会派)

今後の課題である。

(市民参加の取組み)

議会報告会以外では議員個々の取
組みに差がある。他市の実例として

土日・夜間などに開催されている議
会の調査をする必要がある。
(議会報告会)

年2回開催の提案。市民の政治参
加を促すような内容にするべきであ
る。

(議会と市長との関係)

一般質問の手法、市長との緊張関
係を保持するべきである。

(予算及び決算における説明)

予算委員会の設置を他市の例を参
考に検討するべきである。

(政務活動費)

公開と使途について、その責任を
自覚するべきである。

(議会図書室の利用と充実)

場所、一般利用も含めて整備・検
討の余地がある。

(議会広報の充実)

議会の事前告知、開会中の経過報
告などSNSを通して発信してはど
うか。

議会だよりと広報おだの行政情
報が重複する部分は簡略化するべき
である。障がい者等にも広く配慮し
た広報とするべきである。

(議員定数)

議会、委員会機能が果たされる定
数とするべきという意見があったが
後期の議論とする。

(議員報酬)

兼業の現状などを把握し将来的に
検討するべきである。

全員協議会の議題

議会の審査または議会の
運営に関し協議・調整を
おこないます

1月21日

- ・波根工業団地への企業進出計画
- ・幼・小・中学校への空調設備の
整備

2月20日

- ・第2次大田市総合計画
- ・大田市使用料及び手数料の見直し
- ・消費税率の引上げに伴う使用料
等の改正

- ・新可燃ごみ共同処理施設建設工
事プロポーザル審査の決定

仁摩道の駅(仮称)

3月4日

- ・島根県西部地震に係る予算及び
対象施設の状態
- ・大田市立病院の運営状況
- ・土砂災害特別警戒区域(レッド
ゾーン)の指定

3月11日

- ・平成31年度大田市重点要望に係
る経過報告
- ・大田市下水道基本計画の変更

3月22日

- ・大田市東部を震源とする地震記
録誌の作成
- ・株式会社「ゆのつ」清算結了
- ・温泉津ふれあい館の利活用

人事案件

【同意】

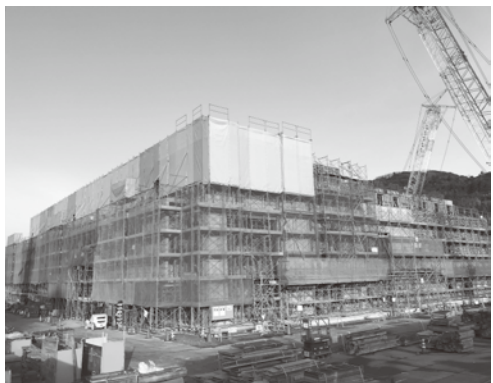
▼教育委員会委員の任命につき同意
を求めること

現委員である福岡信隆氏(久手町)
の任期が本年3月31日満了のため、
同氏を再任命することについて同意
を求めたもの。任期は4年。

【異議なし】

▼人権擁護委員候補者の推薦につき
意見を求めること

現委員である松浦英篤氏(大田町)、
龍文字氏(大森町)及び大谷久夫氏(仁
摩町)の任期が本年6月30日満了のため、
3名を再任命することについて、意
見を求めたもの。いずれも任期は3年。



▲建設中の新大田市立病院全景(平成31年
3月撮影)

『開かれた議会づくりを推進!』

『市民の皆様と自由に意見交換をするため』

議会報告会を開催します!

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成24年度から実施しております議会報告会を、今年度も下記の日程で開催します。総務教育委員会、民生委員会、産業建設委員会の各常任委員会ごとに、3月市議会定例会での当初予算審議状況について報告いたします。議会を身近に感じていただける機会です。是非お出かけください!

日時・会場

開催日はいずれも**5月25日(土)**です。

場 所	時 間
五十猛まちづくりセンター	13:30~15:00
北三瓶まちづくりセンター多根分館	13:30~15:00
福波まちづくりセンター	13:30~15:00
大屋まちづくりセンター	19:00~20:30
波根まちづくりセンター	19:00~20:30
祖式まちづくりセンター	19:00~20:30
馬路まちづくりセンター	19:00~20:30

会場の指定はありませんので、どの会場にでもお出かけください。



※木村幸司氏は、平成31年2月22日に市議会議員を退職されました

議会傍聴のご案内

次の定例会は**6月**の予定です。
市議会を身近に感じる良い機会です。
お気軽にお越しください。

- ◇傍聴席は定員64人です。
- ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。
(TEL: 0854-82-1600)

編集後記

昨年の地震から二年が経過しました。被災されました皆様へお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願っております。

災害はいつ・どこで、どのように起きるかわかりませんが、「自助」「共助」「公助」に「近助(近所)」を加えた4輪駆動の潤滑油としての議員の役割が大きくなってきていると思います。

われわれ議員も市民の声に耳を傾け、知恵や汗をかく努力を惜しんではいけないと思います。市政にとって、新しい時代を迎える足固めの年となるように願っております。

なお広報広聴委員会では、委員相互に協力しながらより親しみやすい紙面づくりに努めてまいりますので、益々のご愛読をお願い申し上げます。
(胡摩田 弘孝)

広報広聴委員

委員長 林 茂樹
副委員長 小川 和也
委員 松村 信之
委員 胡摩田 弘孝
委員 三谷 健
委員 和谷 浩司
委員 根宜 和之
委員 亀谷 優子

株式会社印刷